

150周年を記念して、学校の花を制定します！
学校の花＝「ニホンタンポポ」



「ニホンタンポポ」を学校の花にするにあたって

・たんぽぽは、私たちにとって馴染みのある春の花ですが、現在そのほとんどが西洋タンポポ（外来種）です。その貴重なニホンタンポポが旭川地区の補陀寺付近に群生しています。

・これまで、本校では、3年生が補陀寺へ出かけて行って、ニホンタンポポを育てる会の皆さんから説明を聞いたり、観察したりする学習を継続してきました。

・たんぽぽの花言葉に「真心の愛」という意味があることを知りました。本校は150周年を迎え、「旭川愛～感謝と決意の150周年～」をテーマとして、学校を含むふるさと旭川を大切に思う気持ちを膨らませながら、これまで積み重ねてきた歴史と伝統

に感謝するとともに、新たな歴史を築く決意や自らの夢に向かう決意を高める一年にしたいと考え、スタートしました。その願いにもニホンタンポポが合致すると考えました。

・ニホンタンポポを「愛ある学校」旭川小学校の大切なシンボルとして位置づけ、「夢に向かってやさしく かしこく たくましく」の目標に向かう子どもたちをはぐくんでいきたいと思いをします。